

熊本信用金庫と包括協定



▲調印後撮影に応じる中山峰男学長(左)、品川良照熊本信用金庫理事長(中央)、星合隆成崇城大学情報学部教授(右)

▶熊本信用金庫とSCBによる取り組みの一つとして、同金庫の現金封筒手提げ袋のデザインを手掛けた崇城大学情報学部3年南静香さん(左)と、同大学芸術学部3年の青木映見さん(右)



▲SCBの取り組みについて語る星合隆成教授

▶デザイン画を手元に撮影に応じる南さん(左)と青木さん(右)



▲今回二人が手掛けた手提げ袋(左)と現金封筒大(右)、小(中央)のデザイン画

崇城大学(熊本市西区池田4丁目、中山峰男学長)とコンセプトラボ(株)(合志市御代志、中村美貴社長)は4月24日、熊本信用金庫(熊本市中央区手取本町、品川良照理事長)と、地域活性化に向けた包括連携協定を結んだ。

地域活性化を目的とした「地域コミュニティブランド」(以下・SCB)の普及を目指し、起業支援や創業支援、中小企業の課題解決に取り組むコンセプトラボ(株)と崇城大学が、地元中小企業及び小規模事業者の経営支援を推進する同金庫と情報共有を図り、地域活性化を目指すもの。同大学では「今回の協定締結で、地域活性化に向けたプラットフォームづくりがさらに進展することを期待している」と話している。